

平成20事業年度

決 算 報 告 書

自：平成20年4月 1日

至：平成21年3月31日

国立大学法人 琉球大学

平成20年度 決算報告書

国立大学法人琉球大学

(単位:百万円)

区分	予算額	決算額	差額 (決算-予算)	備考
収入				
運営費交付金	13,017	13,017	0	
施設整備費補助金	466	495	29	(注1)
船舶建造費補助金	0	0	0	
施設整備資金貸付金償還時補助金	0	0	0	
補助金等収入	38	257	219	(注2)
国立大学財務・経営センター施設費交付金	55	55	0	
自己収入	17,072	16,905	△ 167	
授業料、入学料及び検定料収入	4,552	4,457	△ 95	(注3)
附属病院収入	12,359	12,215	△ 143	(注4)
財産処分収入	0	0	0	
雑収入	161	232	71	(注5)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	876	1,280	404	(注6)
引当金取崩	0	3	3	(注7)
長期借入金	1,076	1,066	△ 10	(注8)
貸付回収金	0	0	0	
承継剰余金	0	0	0	
旧法人承継積立金	0	0	0	
目的積立金取崩	100	277	177	(注9)
計	32,700	33,354	654	
支出				
業務費	23,562	24,554	992	(注10)
教育研究経費	12,261	12,274	13	
診療経費	11,301	12,280	980	
一般管理費	5,436	4,620	△ 816	(注11)
施設整備費	1,597	1,598	1	(注12)
船舶建造費	0	0	0	
補助金等	38	248	210	(注13)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	876	1,227	351	(注14)
貸付金	0	0	0	
長期借入金償還金	1,190	1,184	△6	
国立大学財務・経営センター施設費納付金	0	0	0	
計	32,700	33,433	733	
収入-支出	0	△78	△78	

○予算と決算の差異について

(注1) 施設整備費補助金については、次年度への繰越のため26百万円減額、予算段階では予定していなかった補正による教育環境経費及び災害復旧経費を計上した事により55百万円増額。以上の理由により予算金額に比して決算金額が29百万円多額となっています。

(注2) 補助金等収入については、予算段階では予定していなかった補助金の獲得に努めたため、予算金額に比して決算金額が219百万円多額となっています。

- (注3) 志願者数の減少による検定料収入の減額、入学者減による入学料収入の減額11百万円、授業料免除の増額による減額83百万円。以上の理由により金額に比して決算金額が95百万円少額となっています。
- (注4) 附属病院収入については、平均在院日数の短縮化、外来患者数の増、診療単価の増により増加したが、期末における未収金額の増により予算金額に比して決算金額が143百万円少額となっています。
- (注5) 雑収入については、財産貸付料や不用物品売払収入、弁償金及び違約金、定期預金利息収入等の増により予算金額に比して決算金額が71百万円多額となっています。
- (注6) 予算段階では予定していなかった受託研究や寄附金の獲得に努めたため、予算金額に比して決算金額が404百万円多額となっています。
- (注7) 引当金取崩については、予算段階で予定していなかった取崩により、予算金額に比して3百万円多額となっています。
- (注8) 長期借入金収入については、契約金額が予算額を下回ったため、予算金額に比して決算金額が10百万円少額となっています。
- (注9) 目的積立金取崩については、予算段階よりも計画を拡大したため、予算金額に比して決算金額が177百万円多額となっています。
- (注10) 業務費については、退職手当等の支出額の増加により教育研究経費が予算金額に比して決算金額が13百万円多額、診療経費においては、(注4)に示した要因等により、医薬品費等が増え予算金額に比して決算金額が979百万円多額となっています。
- (注11) 一般管理費については、退職手当等の支出額の減、固定資産購入の減、委託契約の縮小による支出減及び老朽化施設解消経費の支出減より予算金額に比して決算金額が816百万円少額となっています。
- (注12) (注1)(注8)に示した理由により、予算金額に比して決算金額が1百万円多額となっています。
- (注13) (注2)に示した理由により、予算金額に比して決算金額が210百万円多額となっています。
- (注14) (注6)に示した理由により、予算金額に比して決算金額が351百万円多額となっています。